

広報ひがしの

No173

令和3年

2021.6.1

人口1656人

(男)835人

(女)821人

世帯数

626世帯

(R3.5.1現在)

東野こども園入園式（4月7日）



東野小学校入学式（4月8日）



東野こども園六名、東野小学校
十六名の新しい友達ができました

歴史で地域を強くする

地域を知る・東野を知る

国内では現在、都会に人口が集まって、地方を中心に少子高齢化が進んでいきます。地域社会が徐々に元気がなくなり、課題や問題に住民たちが考え対応していく力が弱くなっています。さらには、愛着や誇りなど、ふるさとに対する意識が薄くなっていくことが心配されています。

このような中で、今、どのようなことを大切にしながら地域づくりにとりくむべきなのか。そのために、いかに地域資産を見つけ出し、活用していくべきなのか。真剣に考えなくてはならない時期にきています。

この「広報ひがしの」の本紙面は、地域の歴史に活性化の手がかりを求め、情報発信をするものです。

歴史の「コマ」を掘り起こすことで、祖先の地域に対する思いに触れ、地域の未来を探る手掛かりにしたい。

そんなことを考えて、記事の編集をしていきたいと思えます。

「ふるさと東野」の勉強会が始まります

市民三学東野委員会

この委員会は、子どもも大人も、ともに学び、学んだことを生かしあえるまちを目指して勉強会や研修会を計画、実施する委員会です。

四月二十二日、有識者と各会からの代表者を委員とする十三人のメンバーが集まって初回の委員会が開催されました。互選により伊藤顕氏が委員長に、足立伊公子氏が副委員長に、丸山文憲氏が監査に選出され、活動がスタートしました。

コロナ禍で先が見通せない状況ではありますが、年間計画を話し合いました。

伝統あるこの東野を学ぶには、やはり歴史を掘り起こすことを通して先人の故郷への思いに触れることが大切であると考えました。

勉強会としては、十一月と二月に「東野アーカイブス」を教材として、東野の昔を勉強し、九月には東野の史跡巡りを計画しました。

勉強会を計画、準備するために四回の定例委員会を実施することにも決めました。

計画通り実施できることを願っています。

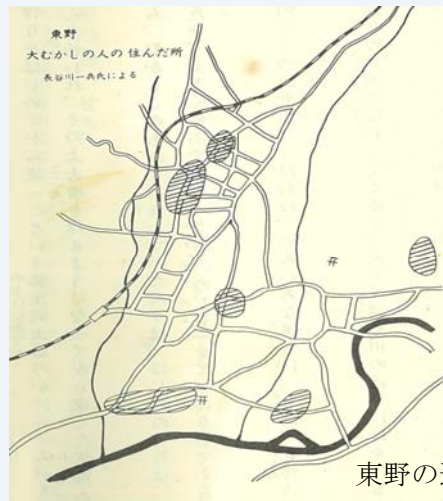


遺跡が語る大昔の「東野」

中の島遺跡（なかのしまいせき）

飯沼川と阿木川にはさまれたところで、約二十アールぐらゐの土地に、縄文土器のかけらが出土します。他にもやじり、石おの、石のぼりなども見つけられています。

さらに、米作りを始めてから使ったという弥生式土器のかけら、みがきのかかった石おの、石の剣も出土し、その上、古墳を作るようになってから使った土器も発見されました。これらのことから昔この辺りに住んでいた人たちは、阿木川や飯沼川で魚を獲ったり、近くの山でウサギやイノシシなどの獣を獲ったりして暮らしていたことがわかります。これらの獲物の肉は食用に、骨はいろいろな道具に、皮は着物に利用していました。



東野の遺跡

やがて米作りの技術が伝わってくると、人々は沼や川の近くに米を作るようになりました。しかし、そのころの人々は、今のような道具も持っていないし、肥料も知りません。ですから、米を作るには、水のあるところでよく肥えた土地を探さなければなりません。ちょうどその条件にあったのが中の島だったのです。

また、右の図にあるように、東野各地に遺跡が点在しています。それらの土地でも、洪水にあったり、鳥獣に作物を食べられたりしながら、熱心に米作りに励んでいたことが想像できます。（「私たちの郷土・東野の昔と今」より）

東野は大昔から東西の人と文化の交流点

大野吾遺跡 (おおのこいせき)

大野吾遺跡は、平成二年十一月に完成した阿木川ダムにより、その湖底に沈んだ遺跡です。ダムの工事に先立ち昭和五十六年に恵那市教育委員会によって発掘調査され、縄文時代や古墳時代の住居跡が検出されるなど規模の大きな複合遺跡であることが判明しました。恵那市で古墳時代の住居跡がまとまって出土したのはこの遺跡がはじめてで、当時の歴史を解明する上で大きな成果をあげました。

縄文時代では、住居跡二軒と集石炉（焼石を利用して食物を蒸し焼きにする調理施設）二基が検出されました。いずれも後期に属するもので、集石炉はこの地方では唯一の検出例です。このほかに煮沸用の土器を転用した晩期のカメ棺や早期〜晩期の土器が豊富に出土しています。

古墳時代では、六世紀初頭から中ごろの住居跡七軒が検出されました。住居跡は、立て替えながら六十年ほど続いた集落であることが明らかになりました。いずれも東日本の石組みのカマドと関東系の土器が出土しており、東日本の影響が認められます。一方、近畿地方で生産されたと推定される須恵器も多く出土しており、東西両方の影響を強く受けた独自の文化をもっていたと推定されます。特に、一号住居跡では、土師器や須恵器が当時使われていたそのままの状態であって見つかかり、当時の生活の様子を知る貴重な資料を得ることができました。



大野吾資料館

染戸遺跡 (しみのいせき)

東野の耕地の整理の折に縄文の遺跡が発見されました。発見されたところの地名にちなんで染戸遺跡と呼ばれています。

平成元年五月から八月にかけて発掘調査が行われました。その結果、いくつもの住居跡（竪穴住居）が発見されました。



染戸遺跡

住居の中の造りは中央に炉があり、その周りに居住スペースがある質素なものでした。普通その当時の炉は石で囲って作ってあるものですが、染戸遺跡の炉には深鉢が使用されていました。炉に使われていた深鉢の文様には、東日本の特徴をもつものと、西日本の特徴をもつものが使われていました。

東日本系の土器の文様は、縄文の文様を地として粘土ひもを波のように張り付けて大変派手な文様となっています。一方、西日本系の土器ですが、時期は東日本系の土器とほぼ同じころです。文様は単純でシンプルです。この二種類の深鉢が住居跡の炉として一緒に使われていたのです。

このことは、当地で東の文化と西の文化が同時に共存していたことを意味していて、当地が東西文化の交流点であったことを表しています。私たちの郷土の文化は、決して単独で発展したのではなく、太古の縄文の昔より驚くほど広範囲の人々と交流して発展してきたことがわかります。

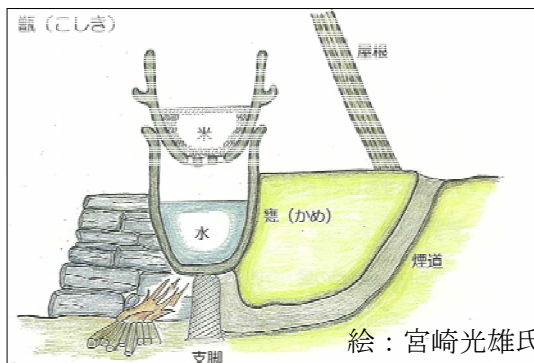
住居

古墳時代の竪穴住居は、住居の地面の形が丸から四角に変わります。また、弥生時代には家の中心にあった炉が、古墳時代には家の端のほうに造られ、カメなどをかけるためのカマドというものをつくりました。カマドは住居の壁に彫り込んで造られ、粘土や赤土で焚口と煙道を作り、煙を家の外に出しました。

米の調理方法

弥生時代になる

古墳時代の人々の暮らし



の強い火で「こしき」としたに水を入れたカメを使って、赤飯やおこわのようにお米を蒸して食べていました。土器のにおいがつかなく、おいしいごはんになりました。

(ふるさと学習読本より)

令和3年度 東野地区各種団体役員名簿 1年間、よろしくお願いいたします

自治会名	自治会長名	青少年育成推進員	体育推進員	交通安全協会委員(男性)	交通安全協会委員(女性)	福祉協力員	女性代表	環境委員
小野川	光岡 則昌	光岡 則昌	光岡 則昌	光岡 秀樹	光岡 直子 (小野川)	光岡 則昌	光岡 和美	光岡 則昌
上浜井場	三浦 泰子	三浦 泰子	三浦 泰子	伊藤 全孝		三浦 泰子	篠原佳代子	三浦 泰子
下浜井場	田口 佳子	田口 佳子	籠橋 茂昭	籠橋 茂昭		西尾 泰彦	渡辺 峰子	田口 佳子
中辻	兼松 好道	兼松 好道	若尾 亮聰	足立 一夫	伊藤 節子 (下辻)	兼松 好道	兼松まゆみ	兼松 好道
下辻	和田 義樹	和田 義樹	依馬 博文	堀江 佳徳		和田 義樹	藤井 雅子	和田 義樹
白坂	佐々 豪治	佐々 豪治	佐伯 藤枝	千藤 昭彦	山内 志保(北山)	西尾 美子	佐々 昌子	佐々 豪治
北万場	伊藤 倫永	伊藤 倫永	太田 正昭	伊藤 隆司	三宅 智子 (北万場)	伊藤 倫永	伊藤 友紀	伊藤 倫永
南万場	土方 利克	土方 利克	夏目 克彦	夏目 克彦		土方 利克	西尾 栄子	土方 利克
井の下	古山 栄一	古山 栄一	光岡 雅康	山口 貴弘	足立 純子 (小麦田)	光岡香代子	伊藤 日美	古山 栄一
小麦田	長谷川勝美	足立 聡史	伊藤 善章	足立 勝彦		田口 理恵	依馬 秋江	長谷川勝美
北中切	足立 尋和	可知真優子	足立 幸夫	大島 浩和	長谷川清香 (南中切)	足立 尋和	伊藤 歩	足立 尋和
南中切	内木 義則	内木 義則	長谷川雅一	伊藤 鋭次		内木 義則	内木 律子	足立 和義
向島	鈴木 義文	鈴木 義文	市川 晴久	市川 隆弘	岡本 祥子 (下沢)	渡辺 成道	市川 美貴	鈴木 義文
下沢	西尾 猛	西尾 猛	千藤 基恭	岡本 和久		西尾 猛	西尾 晶子	岡本 和久
中島	渡辺 昭人	渡辺 昭人	西尾 真二	渡辺 秀幸		遠藤 亜里	西尾喜志子	渡辺 昭人
南天王前	千藤 彰将	千藤 彰将	千藤 稔	伊藤 宮夫	渡辺美千代 (北天王前)	千藤 彰将	千藤 佳子	千藤 彰将
北天王前	伊藤 仁	伊藤 通章	伊藤 和成	渡辺 静男		伊藤 仁	伊藤 浩美	伊藤 仁
上染戸	古山 良人	古山 良人	千藤 智秀	渡辺 正寿	古山 雅恵 (上染戸)	古山 良人	篠原 順子	古山 良人
下染戸	渡辺 泰成	渡辺 泰成	古山 敦啓	千藤 進		渡辺 泰成	古山千鶴子	渡辺 泰成
南大門	千藤 岳明	千藤 岳明	西尾 文昭	小林 正直		千藤 岳明	千藤佐保子	千藤 岳明
上大門	鈴木 保	鈴木 保	市川 雅久	足立 明夫	竹之越都茂美 (上大門)	丸山 年道	丸山 智子	鈴木 保
下大門	鈴木 英明	鈴木 英明	鈴木 幸盛	林 源幸		桐山 智子	林 聡子	鈴木 英明
宮の前	千藤 政夫	千藤 政夫	足立 元紀	渡辺 卓夫	山内 志保 (北山)	小泉恵美子	小泉恵美子	千藤 政夫
北山	丸山 英治	丸山 英治	田口 忠	岡田 敏也		篠原 正幸	丸山 照美	丸山 英治

- 東野開発振興会
 - 会長：岡本光美
 - 副会長：西尾幸男・渡辺静男
 - 理事：西尾泰彦・足立正史
- 曾我昭光・土方博美
- 西尾猛・千藤岳明
- 光岡伸康
- 監事：渡辺泰成・伊藤善章
- 東野自治連合会
 - 会長：岡本光美
 - 副会長：西尾幸男・渡辺静男
- 東野生産森林組合
 - 組合長：三宅一彰
 - 副組合長：伊藤和・鈴木義文
 - 理事：光岡秀樹・渡辺英勝
 - 三浦貞好・土方正和
 - 千藤秀幸・西尾克彦
 - 鈴木英明
 - 監事：千藤智秀・林基憲
 - 渡辺昭人
- 壮健東雲連合会
 - 会長：伊藤全孝
 - 副会長：岡本光美
 - 婦人部長：長谷川幸子
 - 書記・会計：長谷川克巳
 - 監査：吉村義夫・伊藤節子
 - 第一東雲会長：伊藤全孝
 - 第二東雲会長：吉村義夫
 - 第三東雲会長：長谷川誠志
 - 第四東雲会長：藤川千行
 - 第五東雲会長：岡本光美
 - 第六東雲会長：長谷川克巳

- 東野民生児童委員
 - 長谷川和利・遠藤茂樹
 - 松本広英・小泉恵美子
 - 東野主任児童委員
 - 杉本成美・千藤佳子
 - 消防団第3分団
 - 分団長：千藤基恭
 - 副分団長：水野裕介
 - 東野青少年育成委員会
 - 会長：渡辺泰成
 - 市青少年育成推進員：篠原佳代子・三宅勝義
 - 東野体育協会
 - 会長：千藤富久
 - 副会長：土方利克・足立幸秀
 - 小学校PTA
 - 会長：五月女和弘
 - 副会長：足立聡史・深津純子
 - 子ども会育成会代表：伊藤浩
 - こども園育友会
 - 会長：西尾綾美
 - 副会長：土方紘一郎
 - 恵那東中第9支部
 - 支部長：丸山英治
 - 副支部長：光岡祐輔
 - 交通安全協会東野支部
 - 支部長：渡辺卓夫
 - 副支部長：光岡秀樹
 - 岡本和久
- (以上敬称略)



コロナ禍でのそれぞれのスタート

青少年育成会議

青少年育成会議の主要な行事の「ほたる祭り」が新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。また、当面の会議やイベントも今のところ自粛する予定です。

東野生産森林組合総会

5月1日、開発振興会の総会と同じく、時間制限のある中で、効率的な提案がなされ、出席者の協力も得て、短時間で終わることができました。



東野開発振興会総会

4月27日、東野コミュニティセンターにて令和3年度の東野開発振興会の総会が40名余りの出席者を得て開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため午後8時までと制限する中で、活発な意見交換がなされました。

春の交通安全運動

春の交通安全週間が四月六日から四月十五日まで実施されました。年度のスタートにあたって交通安全を意識する大切な取り組みです。初日の四月六日には東野の交差点で人波作戦が行われ交通安全協会ははじめ各種団体の方々四十名ほどが参加されました。

小学校の始業式が四月七日でしたので一日違いで子どもたちの登校の姿がみれませんでした。が、今年度も無事故で登下校してほしいと願っています。



東雲連合会総会

東雲連合会の令和三年度の総会が四月十八日(日)に東野コミュニティセンターにおいて行われました。コロナ禍で密をさけるため支部役員の出席のみで開催され、各議案が承認されました。各会員には自治会内に回覧として総会資料の報告がありました。



新型コロナウイルスの感染状況でまだどうなるかわかりませんが、事業計画としては例年通り花壇の植栽を中心に各種イベントへの参加協力が計画されています。

令和3年度 東野地域安全パトロール実施日

団体名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
東野開発振興会	9.・16			16	27			26	3				
自治連合会(上)	23					3		10					
自治連合会(下)	30					10		17					
小学校PTA		7				17				14			
中学校PTA		14				24				21			
こども園育友会		21					1			28			
交通安全協会東野支部		28					8				4		
東野生産森林組合			4				15				18		
東雲連合会			11				22				25		
青少年育成会議			18				29						4
民生児童委員			25					5					11
公務員OB会				2				12					18
消防団				9				19					

令和3年度も東野地域安全パトロールを実施します

東野では平成十九年十一月二日に安全パトロールを実施して以来十四年間、地域安全パトロールを実施しています。パトロールを実施していただくのは、左の表のように、自治連合会、開発振興会、交通安全協会のような地域の諸機関、諸団体の皆さんです。

下の写真の東野生産森林組合の軽ワゴン車を使いパトロールをします。メッセージを放送しながら小中学生の下校時刻に合わせ、町内を細かく巡回しています。



慰霊祭・愛林碑祭典・魚供養碑祭典

地域の話題

東野戦没者慰霊祭

四月三日、満開を迎えた慰霊塔の桜の木の下で、厳かに慰霊祭が行われました。開会の言葉のあと黙祷をさげられました。続いて、岡本光美会長の式辞のあと参加者全員で献花をし、祖国のために戦った英霊に哀悼の意を示しました。コロナ禍で、昨年同様人数を絞った開催でした。



し、祖国のために戦った英霊に哀悼の意を示しました。コロナ禍で、昨年同様人数を絞った開催でした。

愛林碑祭典

例年四月の初めに行われる愛林碑の祭典が今年も四月三日に実施されました。コロナ禍の中で、昨年と同様に来賓の方々の出席はなく、できるだけ少人数で密を避けて行われ、東野の美林に感謝をしました。



魚供養碑

皆さんご存じでしょうか。阿木川ダムの下に魚を供養する碑が建っています。毎年五月五日に（うらら）は、東釣会の会員が集まり、掃除をしてから宮司さんに祝詞をあげていただき、東野の河川で獲れた魚や山野で獲れた鳥獣の御霊を鎮めていきます。

東釣会とは、もともと鮎釣りの仲間十六名で発足した会で、時期になると集まって鮎かけを楽しんでいました。今から三十三年前、阿木川ダムができるのを機に、殺生してきた魚の霊を鎮めるために現在地に魚の形をした石を祀り、魚供養碑としました。ふるさと東野の魚や鳥獣を大切にすることを会員の心が伝わってきます。

東釣会は、当初は十六名で発足しましたが、月日が経ち会員の高齢化も進み、現在では十二名が供養祭に参加しているとのこと。代表者は、天王前の伊藤宮夫さんです。

阿木川ダムのすぐ下、山本用水の取り入れ口のちょうど真上ぐらいのところに碑があります。数台の駐車場スペースもありますので、お近くにお越しの折には、ぜひお参り下さい。



高齢者叙勲の紹介 おめでとうございます

下浜井場自治会の吉村茂夫さんが四月一日付、高齢者叙勲で瑞宝双光章を受賞されました。吉村さんは教育一筋で、中津川市立南小学校長を最後に退職され教育功労者として叙勲されました。

退職後も公民館活動等に積極的にいかわり地域の文化の向上に貢献されました。

文芸

花無山句会自選句

令和三年四月二十三日

- ・うららかや弁財天へ赤き橋 市川 芳子
- ・花冷えにためらふ散歩老いの足 内木伊都子
- ・今に佳し山柔らかく風光る 千藤 猛司
- ・今日明日が見頃の一人静かな 千藤 恵三

東野地域安全パトロール（6・7月）

金曜日16:00～17:00

6 月	
4日	東野生産森林組合
11日	東雲連合会
18日	青少年育成会議
25日	民生児童委員
7 月	
2日	公務員OB会
9日	消防団
16日	開発振興会

見守り、よろしくお願いします。

コミセン利用団体の紹介

令和3年度の前期市民講座が5月よりスタートしました。東野コミュニティセンターでは、前号で紹介したように9つの講座すべて開講することができました。

また、市民講座以外でも一般のサークルや趣味の団体の方々に利用されています。例えば花無山句会では、月2回定例会を開催し、季節にあった句を詠んでみえます。

【紹介】 花無山句会（月2回実施）

昭和十四年ころ「豆の花句会」が発足し、活動を始めました。これが、「花無山句会」の前身です。

戦時下の厳しい社会情勢の中でも文化活動として句会が続けられました。

そして、昭和四十八年東野公民館教養講座として俳句科目が開設されました。講師に鈴木抱風子（鈴木弘道）さんを迎え、西行伝説にちなみ「花無山俳句会」として活動が続けられました。

昭和五十八年には宗久寺境内に合同句碑「只管花鳥巡礼」が建立されました。

昭和六十三年には向島阿弥陀ヶ根麓に「山河あり」の句碑が建立されました。

平成初年ごろから公民館講座から自立して、以後、生涯学習団体「花無山句会」として、月二回の句会を続けられてきました。

会場は、東野コミュニティセンターです。



只管花鳥巡礼（宗久寺）

（代表者 千藤恵三さん 談）

平成17年、鈴木先生亡きあとには指導者のないまま続けてきました。「みんなが先生、みんなが生徒」です。年々会員の高齢化が進み、新しい加入者もなく、先は不透明です。「豆の花」で蒔かれた種が消えていくのは残念です。



山河あり（向島阿弥陀ヶ根麓）

花無山句会以外にもスポーツ吹き矢、スキップ、太極拳こぶし会等、10を超える団体がコミセンを利用して活動してみえます。ぜひ、趣味の会や会議等、お気軽にご利用ください。

コミュニティセンターでの感染対策

東野コミュニティセンターを利用される時も感染予防を徹底してください。

- （入館時） 検温、消毒（玄関に検温と消毒の機器があります）
マスク着用（ご自身で準備してください）の徹底
- （館内） 距離の確保、換気、大声等に気を付けてください。
（館内の感染防止の指針に従ってください。）

感染状況によっては施設の利用を制限することがあります。



☆どの色に
しようかな…



☆立派な手形だね



☆みんな揃って

❤はいポーズ



乳幼児学級すくすくクラブ

今年度の乳幼児学級「東野すくすくクラブ」は5月から始まっています。

次回6/24（木）は、「子づれ防災」を予定しています。

また、未就園児のお子さんの募集を随時行っていますので、お気軽にお声がけ下さい。

★令和2年度、活動の様子

3/25（木）一年間の記念に手形・足形をとりました。

一生に一度の成長記録となりました。



こんな本入りました

「とびだすこうじげんば」

ページをめくるたびに、おやこの歓声が聞こえてきそう！いちど手に取ってみてください



今季のテーマは…「断捨離・料理」

新生活を始めるにあたって、参考にしてみてください



発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五
東野地域自治区運営協議会 ☎二六―二四四

編集後記

この四月より東野コミュニティセンターでお世話になっております。着任してまだ日も浅いですが、多くの方々にお会いしました。昔から地域でお見掛けする顔も多く、とても懐かしく身近に感じています。ぜひ、これからお気軽にお立ちよくださり、声をかけていただければ嬉しいですよ。よろしくお願いします。

（恵那市教育委員会より）

○東野コミュニティセンター 塾長 三宅 勝義

転入職員紹介 よろしくお願ひします

○東野振興事務所 所長 柄澤 史枝

（元氣プラザより）

四月より東野振興事務所で勤めさせていただくことになりました。皆様のお力をお借りしながら頑張りたいと思います。よろしくご指導くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大のため、各種イベントが縮小され、広報の記事のネタにも困るようになってきました。今回は年度当初の発刊ということもあり、各種団体の総会がありましたので、何とか紙面も埋まり、皆さんに発信できることができましたが、これからは、ますます記事がなくなっていくので心配をしているところです。

そこで、小さなことでも結構ですので、皆さんの身近に話題がありましたらぜひコミュニティセンターまでお知らせください。

本号の「魚供養碑」の記事は、東釣会代表者の伊藤宮夫さんの情報で記事にすることができました。ありがとうございました。